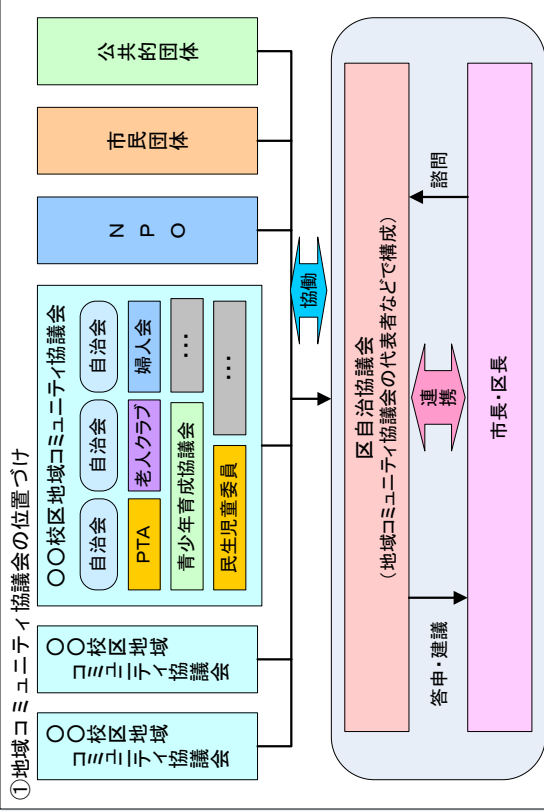


《市民と行政の協働による地域のまちづくりの取組み(地域コミュニティ協議会)》

【取組みの概要】

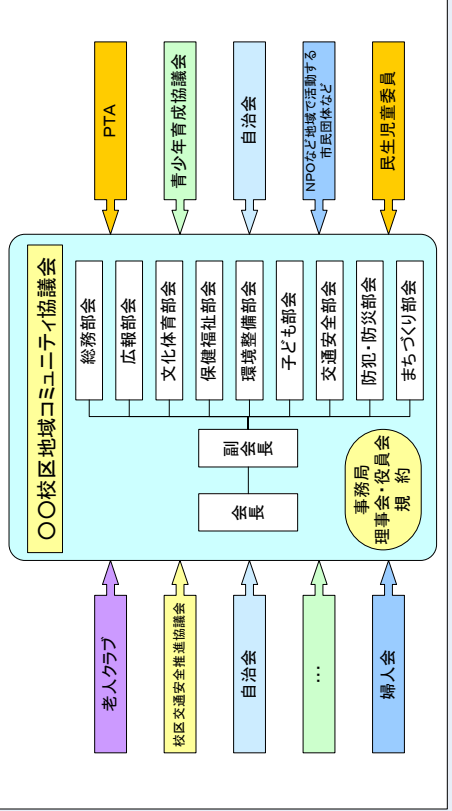
「地域コミュニティ協議会」は、住民が主体となった地域づくり・まちづくり活動を支援・推進するため、自治会・町内会を中心に、様々な地域団体やNPO、企業などの参加による「**小学校区または中学校区を単位とする組織**」のことである。
新潟市が平成17年からこの取組みを開始し、平成19年3月現在で、新潟市内全域において、**97の「地域コミュニティ協議会」が構成**されている。

【位置づけと組織イメージ】



②地域コミュニティ協議会の組織イメージ

- 小学校区または中学校区単位を基本
- 自治会・町内会・民生児童委員・PTA・NPOなどにより構成
- 地域の防災、教育、福祉などの地域でできる課題に取り組む



【自治会との関係性と組織の比較】

①自治会との関係性

- 従来の自治会の連携を軸とし、自治会活動が更に充実することを旨とし、小学校区または中学校区に民主的に開放的な新たなコミュニティ活動を行う
- 町内会、自治会活動を尊重しつつ、自治会との連携により地域コミュニティ協議会は、市民主体の地域づくり、まちづくりをめざし、相互に連携・補完し合う組織として位置づけられている

②自治会との比較

エリア	自治会・町内会	地域コミュニティ協議会
地域	近隣50～300世帯	小学校区約1万人
特徴	隣近所の顔が見え、あいさつ、葬祭、ごみ、刺清清掃、防火防犯など日常生活における適度なつきあいがあり、近所で助け合える関係が存在する。	顔が見えられ、誰でも歩いている範囲。幼稚園、小学校など子どもを中心とした交流やPTA活動がある。
活動の概要	<ul style="list-style-type: none"> 行政の生活情報などの配布、回覧 婦人会・子ども会などの運営 生活密着の自治会活動 街灯、防災防犯 ごみステーション管理、地域美化 新年会、旅行などの親睦事業など 	<ul style="list-style-type: none"> 学習文化活動、スポーツ活動、運動会 高齢者対策などの福祉ネットワーク活動 コミュニティ誌の発行 地域課題の把握、解決方策の検討 まちづくり協働事業の実施 (公園管理、小規模施設管理) 青少年育成活動 防災防犯活動 エコマナー活動 生涯学習活動など

【取組みの内容】

- ①まちづくり事業
 - まちづくり活動
 - 行政のまちづくり計画への協力活動
 - 区自治協議会
 - 広報活動

②生活充実活動事業

- 福祉活動
- 防犯、防災活動
- 青少年育成活動
- 交流活動

③公共施設等の維持管理事業

- 環境美化活動
- コミュニティ施設管理運営受託

④その他の事業

- エコマナー活動
- 生涯学習活動

【活動状況の一例】

①〇〇コミュニティ協議会の事業計画

●年間事業計画(コミ協主催の事業のみ)

年月	事業内容	場所
20年4月	19年度助成事業実績報告 〇〇コミュニティ協議会	〇〇地域生活センター 〇〇地域生活センター
5月	〇〇コミュニティ協議会総会	〇〇地域生活センター 〇〇地域生活センター
7月	〇〇コミュニティ協議会視察研修 〇〇コミュニティ協議会開催 三役会議 〇〇自主防災会防災訓練	〇〇地域生活センター 未定 〇〇地域生活センター 〇〇地域生活センター ブロック別開催
8月	〇〇コミュニティ協議会開催 コミ協杯フットボール大会	〇〇地域生活センター 〇〇小学校
9月	新学期交通安全安全指導 運動会	各地域 〇〇小学校
10月	〇〇地区祝賀会 〇〇コミュニティ協議会 △△登山	〇〇小学校 〇〇地域生活センター △△山
11月	視察研修	未定
12月	〇〇地区文化祭	〇〇地域生活センター
21年1月	〇〇コミュニティ協議会 卓球大会	〇〇地域生活センター 〇〇カルチャーセンター
3月	〇〇コミュニティ協議会 ひなまつりコンサート 決算役員会・会計監査	〇〇地域生活センター 未定 〇〇地域生活センター

※コミ協主催の事業の他、様々な活動を表している

②〇〇コミュニティ協議会の事業予算書

●収入

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較	付記
事業費	200,000	200,000		0市より事業助成金
運営費	100,000	100,000		0市より運営助成金
会費	530,000	0	530,000	交通安全委員の会費 240,000 健康衛生委員 290,000
雑収入	122,102	0	122,102	高の花プラン、 得意料子、その他
繰越金	347,898	0	347,898	前年度より繰越金
合計	1,300,000	300,000	1,000,000	

●支出

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較	付記
研修費	200,000	60,000	140,000	謝礼 研修会参加費 ひなまつりコンサート
事業費	300,000	60,000	240,000	△△事業、セフアの画 交通安全、健康衛生事業 高の花プラン
消耗品費	80,000	15,000	65,000	
食糧費	100,000	35,000	65,000	会議費等
印刷費	200,000	120,000	80,000	広報誌等
郵送料	20,000	10,000	10,000	〇〇切手代
雑支出	100,000	0	100,000	〇〇会報誌
繰越金	300,000	0	300,000	特別会計積立金へ
合計	1,300,000	300,000	1,000,000	

※上記の予算の他、コミ協独自で実施しているゴミ回収などの活動により収入を得ているケースもある

《地域と学校が連携する新たな取組み(地域と学校パートナーシップ事業)》

【事業の概要】

学校が今まで以上に開かれ、地域と共に歩む学校づくりの推進のため、学校に「**地域教育コーディネーター**」を配置し、社会教育施設の様々な活動を結ぶネットワークづくりや共同事業を推進し、学・社・民の融合による教育を進めることをねらいに、平成19年度に創設した。
平成20年度現在で、市内40校の小中学校で実施している。
 今後、**平成26年度までに市内全小中学校での実施を旨指している。**

【事業の視点と特徴】

- ①**学校のメリット**
 - 地域の人材を生かした、多様な学習活動が可能になる
 - 専門的な知識を生かした学習支援
 - ・ 引率補助、安全見守りなどの人的支援
 - 休み時間や放課後も含めた、多様な教育活動が可能になる
 - スポーツ少年団等の推進
 - 放課後、土曜、長期休業日の活用
 - 「自分たちの学校」として、教育活動、学校運営に対する地域の関心と期待が高まり、特色ある学校づくりができる

②**地域のメリット**

- 地域によって学校が、もっとも身近な「**学びの拠点**」となる
- 学校施設の活用
- 子育て情報交換やサークル活動など学びの場の提供
- 趣味や特技を生かせる、住民の自己実現の場となる
- 専門的な知識を生かした学習支援

③**地域教育コーディネーターの配置**

- 対象者
 - ・ **地域が推薦し、校長が認めたものを市が非常勤職員として委嘱**
- 役割
 - ・ 地域人材の発掘と活用、学校支援ボランティアの組織化
 - ・ 社会教育施設や地域の諸団体との連絡・調整
 - ・ 地域の学びの拠点づくり
- 活動例
 - ・ 学校や地域のニーズを把握し、互いに協働できることを企画・調整・実施
 - ・ 読み聞かせ、情報教育、総合学習、学校行事、サマースクール等のボランティア募集や派遣
 - ・ 地域交流が図れる場や子ども居場所づくりの準備、開設



【事業の実施状況】

- ①**主な活動内容**
 - **学校ごとに推進会議の立ち上げ、地域コミュニティや公民館等との連携強化**
 - **学校の教育活動、課外活動における地域人材の参画と協働**
 - ・ 授業補助、参加(ミシン、水泳、道徳)、クラブ活動講師(茶道、和紙づくり、囲碁、将棋)
 - ・ 絵本読み聞かせ、放課後学習教室、食育、ラジオ体操、○○甚句音頭の伝承
 - ・ 体験活動(校庭の果樹を利用した梅干し、干し柿づくり、凧揚げ、昔遊び)
 - ・ 校外学習引率、環境整備(樹木の剪定、花壇の整備、○○ロートづくり)
 - **学校における学びの拠点づくり**
 - ・ 家庭教室を利用した食育(地域・保護者対象、公民館との共催)
 - ・ ふれあい給食ランチ
 - ・ 地域探訪(地域・教職員対象)
 - ・ およびの会設立
 - **学校の教育を地域へ発信(保護者、地域へのおたより発行、学校HPの活用など)**

②**地域への周知・啓発方法**

- 地域、区役所だよりの活用
- ポスター掲示、チラシ配布(周知、学校支援ボランティア募集)
- 保護者、地域へのおたより配布、回覧、学校HPにコーナー設定

③**ネットワークの形成方法**

- 連携先
 - ・ 地域(コミュニティ協議会、自治会、老人クラブ、NPOなど)
 - ・ 社会教育施設(公民館、図書館など)
 - 指導者やボランティアの確保
 - 指導者やボランティアの確保
 - ・ 事業の中心となる地域教育コーディネーターには、地域活動、教育活動に関心・理解があり、信頼のあつた方を学校や公民館が人選し、教育委員会が委嘱する
 - ・ コーディネーターは、学校のニーズを把握し、学校支援ボランティアを募集し、組織・整備にあたる
 - ・ 地域のネットワーク
 - ・ **各学校にPTA、コミュニティ協議会、公民館などを構成員とするパートナーシップ推進会議を設置する**
 - ・ コミュニティ協議会などとの関わりをもつため、会議等の会合に積極的に参加し構成員からの協力を要請する
 - ・ 学校への要望を受け、相互に協力し合える体制づくりを行う

④**成果**

- 学校支援ボランティアの活用により学習活動が充実し、児童の人間関係が広がる機会や児童が大人から認められる機会が増えた
- 地域の方、保護者、社会教育施設とが積極的に関わるよさを理解し、協力し合う姿が見られた

【パイロット校の主な活動例】

- ①**北区 松浜小学校での活動**
 - 学校支援ボランティアの一元化
 - ・ 校外学習引率(商店街、公共施設等)
 - ・ ふれあいスクール
 - ・ サマースクール(医療福祉大学生等)
 - ・ プール開放
 - ・ 持久走記録会補助
 - ・ ミシンかけ授業補助
 - ・ 昔の遊び
 - ・ 飼育委員会指導
 - ・ 総合「戦争体験を聞く」
 - セーフティスタジアムの組織づくり(54名)と年3回の会議開催
 - 「浜っ子サポート室」
 - 「多目的教室」の開放(サークル、会議等)
 - **地域教育コーディネーター設置場所**
 浜っ子サポート室(1階)



写真 校外学習引率スタッフ

②**江南区 亀田小学校での活動**

- **かめた祭り「亀田甚句」の参加募集**
(平成19年20名→平成20年190名)
- 学校支援ボランティア
 - ・ 亀田公園引率
 - ・ むかしあそびのかい(コマ回し、折り紙、お手玉、けん玉等)
 - ・ 町体験(すてきさがし)
 - ・ 野菜づくり・収穫祭
 - ・ プール監視ボランティア(10名)
 - ・ 絵本の読み聞かせ
 - ・ ミシン授業補助
 - ・ パソコン授業補助(マウスが使えればOK)
 - ・ 見学引率
 - ・ 稲刈り
 - ・ ミシン授業補助
 - ・ 放課後学習教室(ホカク)の実施(7月に2回、1~4年生20名にボランティア2名)その後も継続(毎週火曜日)



写真 かめた祭りへの参加

■ **地域教育コーディネーター設置場所**

生涯学習室(2階)